

令和4年度

立江小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎基本の定着とそれを活用する力の育成
- 自他の意見を尊重し、主体的に学習に向かう児童の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
古田玲子(教諭)	校長:高原俊英 教務主任:濱田江利子 教頭:瀬野俊恵 研修主任:森本千寿子

校長

高原 俊英



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○単元テストにおいては、概ねどの学年のどの教科も80%以上の平均正答率を達成することができた。 ●文章の読解力や知識・技能の活用力に課題がある。	・自分の気持ちや意見・要約など「書く」活動に意欲的に取り組むことができる。 ・応用問題に挑戦し、問題に慣れ、問題の意図をつかむことができる。	・授業の中で問題づくりや解き方の説明・図に表す・要約をするなどの時間をしっかりとる。 ・毎週金曜日のスキルアップタイムに、学力向上確認プリント等を行う。	・「書く」時間を授業中に確保することは難しいが、継続することによって手順が分かり、速読・速記などの力もついてきた。要約、視写など同じ活動を3ヶ月、半年など継続して行っていくようにする。	・視写や要約をする活動を続けてきたことで、「書く」力がついてきた。感想や日記はマンネリ化しているため、工夫が必要である。 ・学力向上プリントをしたことで、読解力や発展的な問題に対応する力がついてきたが、問題量が多く時間内にすることは難しかった。	・学力向上プリントは、高学年用はあるが、低学年用がないので、低学年では、基礎的な力がつくものやクイズ的なもので楽しく取り組めるものを用意する。また、来年度はAIドリルを導入する予定なので、スキルアップタイムに計画的に活用できるようにする。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを表現できる児童が増えてきた。 ●1日30分以上読書をしている子が29%と低い値になっている。	・本や新聞に興味をもち、自分の考えをまとめ、伝え合うことで思考力や判断力を身につける。 ・週に2時間以上読書をする。	・NIEノートに視写や気付いたことを書いたり、読書をして思ったことをスピーチで友達に伝えたりする機会を増やす。 ・土日には、読書の宿題を出したり、家庭読んだ本も多読賞の対象に入れたりし、家庭での読書時間が増やす。	・読書や新聞を読むことが習慣化されてきた。低学年は語彙力、高学年は読み取る力がついてきた。その力を、自分の考えをまとめ、伝えることに生かせるよう工夫していく。	・アンケートの結果、週に1時間以上読書をしている子は、46%という値であった。朝の活動や宿題に読書を出してきたが、読書をたくさんしている子と読書をあまりしていない子の差があることが分かった。	・読書活動の取り組みや読書のよさについて家庭への便りや知らせ、連携しながら、学校でも家庭でも読書ができる環境を整えていく。また、友達同士や先生・家族からのおすすめの本などを伝え合うようにする機会をもつ。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○宿題や課題の提出は、よくできており、落ち着いて学習に取り組んでいる。 ●教師の指示を待つ傾向があり、主体的に学習に取り組めていないことが多い。	・新聞に興味をもち、読む習慣をつける。 ・成功体験を積んでいき、自己肯定感を高めていく。	・毎週火曜の朝活に子ども新聞を読み、社会の時事問題について話し合ったり、既習の学習と結びつけたりし、興味をもてるようにする。 ・新聞の投句や朝会での学習発表等、児童が活躍できる場を増やす。	・発表までの準備時間がとれず、朝会での学年発表があまりできなかった。また、ズーム朝会をしているので、人前で発表する機会が減っている。他者評価や自分で振り返る時間を取り、自己肯定感を高められるようにしていく。	・毎週新聞を読んでいくことで、リアルな情報を教科学習に生かすことができた。また、NIEノートを継続してきたことで、読み取る力や考える力がついた。 ・朝会での学年発表はできなかった。年度初めに計画を立て、各学年で発表できるようにしたい。	・縦割り班での活動を活性化させ、子ども達の意見が生かされ、主体的に活動できるような場を取り入れていく。各委員会での集会活動、朝の活動時に縦割り班で愛校活動やゲーム・遊びを実践していき、成功体験を積み重ねられるようにする。

令和4年度 学力向上ロードマップ

